

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	112	事業名	創造スタッフ創造活動事業 (中事業名) 創造スタッフ創造活動事業		担当課		生涯学習課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-7 創造スタッフ創造活動事業		
					決算書ページ		233	～ 233	一般
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪					
		政策	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進					
		施策	(2)	文化芸術による交流					
	その他	開始年度	開館時1998						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律						
		関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 61000 【事業内容】 創造スタッフとして、若手アーティストが文化の家事業の企画や制作に関わることで、キャリア形成を支援します。また、創造スタッフが高齢者施設の活動等において社会貢献につながる芸術活動ができるよう支援する		【アクションプラン指標】 社会貢献につながる取組を行うアーティストの人数 【その他の指標】 文化芸術マスタープランに沿った多様な事業（公演鑑賞事業や、講座、アウトリーチ等）の開催。		市民に多様な芸術体験の機会を提供する場が増加する。 (成果指標名) すべての事業での新聞等の掲載回数		大事業共通 市民が芸術体験を通して、豊かな心を育み、未来を生きる楽しみと希望を見いだしていく。また芸術活動を通じた市民活動に参加することで、人と人の絆を深め、誰もが孤立しない社会が形成されていく。	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）

活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
1	【アクションプラン指標】 社会貢献につながる取組を行うアーティストの人数	人	基準値	6	見込	6	6	6	6	6
	目標値		6	実績	6					
2	【その他指標】 市民参加人数【創造スタッフ劇場の入場者数】 （R7工事休館のため、実施不可） （R6, R8は一部工事休館のため実施を調整）	人	基準値	300	見込	500	0	500	500	500
	目標値		500	実績	480					
3			基準値		目標値					
			目標値		実績					
4			基準値		目標値					
			目標値		実績					
事業開始の背景		文化の家は1998年の開館以来「人々が集い憩う、市民全体の「家」となってほしい」「市民にとって芸術文化活動を展開し、地域の文化を発信する「わが家」を感じるような親しみ深い施設になってほしい」という願いのもとに開館当初から策定された文化芸術マスタープランに基づき事業を企画、展開させてきた。								
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
R 6	創造スタッフは長久手市に密着し継続した活動ができる全国でも珍しい契約アーティスト制度である。このことで、創造スタッフの公演を見に来た子どもたちや、大人でも、おなじみのアーティストとして交流が生まれ、身近に多様な生き方のアーティストの存在を感じることができている。創造スタッフを見て、音楽をはじめたという市内在住の子どものエピソードなども多数ヒアリングできた。				R 7					
R 8					R 9					

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		すべての事業での新聞等の掲載回数		回	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度	
					52回		35回		38回		58回		60回	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					事業の紹介記事が新聞等掲載されることは、広域への周知のみならず、事業の価値を客観的に市民に伝える根拠や裏付けとなるため。						
	評価の理由、分析													
	新聞記事の掲載は、コロナ禍で事業が減少した影響があり、一時期落ち込んだが、近年再び掲載数を増やしてきている。それでも掲載数に年度によっていくらかの幅があるため、地元新聞記者との関係性を構築し、定期的な事業の取材依頼を欠かさないことが必要となる。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		創造スタッフの創造性は卓越しており、意欲も高いが、現在の人員で創造スタッフのアイデア事業すべてに対応できるだけの人員が配置されていないため、拡充がしにくく、現在の事業を維持することに注力する。									
		改善ポイント												
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）														
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度				
1	新聞やマスコミなどにPRを行い、先進性の高い創造スタッフ事業を市としてPRする	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	全国でも珍しいアーティストとの協働事業を展開している点を市の魅力としてPRし、住みよい町としてイメージを拡大して、シビックプライドの醸成を図る。							R7				
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年間の 推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
			C. 縮小 D. 廃止			3, 300	3, 300	3, 300	3, 300	3, 600		
		理由			特定財源	合計額						
		現在の事業数を維持しながら、市民により身近な存在として、事業を企画していく。職員数とのバランスを考えながら実施可能な事業を模索していく。				(内 国費)						
						(内 県費)						
						(内 諸収入)						
						(内 その他)						
		積算額			一般財源	3, 300	3, 300	3, 300	3, 300	3, 600		
		R 7同額			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞							
					創造スタッフ創造活動事業委託 3, 600千円（3, 600千円）							